

科 目 名
建築計画Ⅱ Architectural Planning Ⅱ

1 年 後期 2 単位 必修
秋 元 一 秀

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：1-(1), 1-(2), 2-(4), 2-(5), 3-(4)
建築学科教育カリキュラムとの対応：

学習・教育目標	JABEE基準 1 の(1)の知識・能力	コース名	必修／選択の別	授業時間
B	B 1	—	必修	22.5時間
		建築総合コース		
		建築計画コース		
		建築構造コース		

【概要】

住宅は最も身近だが、最も長い歴史をもつ建築である。したがって、多様な実態と変遷があり、容易な建築に見えて、奥深い対象である。住宅のあり方は、自然環境、人々の生活スタイルや価値観、社会的・技術的条件などと密接に関係している。今日、これらの諸条件は多様に、また大きく変化しており、眼前の事象を表面的に眺めるだけではその関係性は見えてこない。住宅を対象に、それを成り立たせる背景を学び、幅広い視野を身につけ、建築を計画・設計することの意義を概説する。

なお、この授業は、学士課程共通の学習効果の「知識・理解」の「多文化、異文化に関する知識の理解」と「人間の文化、社会と自然に関する知識の理解」、「汎用的技能」の「論理的思考力」と「問題解決力」、「態度・志向性」の「市民としての社会的責任」、建築学科専門プログラムの「建築を計画する上で検討すべき機能性、安全性、快適性及びデザインに関する知識と理論を理解し、空間創造のための技術及び計画表現のための技術を養成する」とJABEEの規定する知識・能力の「専門技術に関する知識とそれらを問題解決に応用できる能力」の「建築学分野の包括的な専門的知識・能力」及び「種々の科学、技術および情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力」の内容が含まれる。

【到達度目標】

- (1) 建築を設計・計画することの特殊性とその方法を理解する。
- (2) 住宅のあり方にかかわる要素を学ぶとともに、それぞれの関係性の比重により、住宅の形態が多様であることを理解する。
- (3) 現代の住宅において関係性の強い構成要素を理解するとともに、今後の住宅に求められる課題を思考する。

【授業計画】

テーマ	内 容
① 住宅とは	建築とは、建築の位置付け、住宅の多様性に関して解説する
② 住宅を規定する要素 i	自然的要素として自然環境、地形、立地場所との関係で住宅を考える
③ 住宅を規定する要素 ii	人為的要素として、建築技術、生産形態、防衛、社会形態との関係で住宅を考える
④ 住宅を規定する要素 iii	人為的要素として文化形態との関係で住宅を考え、決定論では説明できない住宅の多様性を解説する
⑤ 近代建築理論と建築計画	近代建築理論と建築計画の理論と方法を解説する
⑥ 住生活と生活構造	住宅とは住生活のための空間であり、その住生活の内容をその成員や生活行為の面から解説する
⑦ 団欒・食事の空間 i	居間及び食事室の意義と要求条件を学び、その計画を行う上での要点を解説する
⑧ 団欒・食事の空間 ii	人間が複数存在して対人行為を行う場合の特徴と、その空間の計画上の要点を解説する
⑨ 家事の空間	台所を中心に、社会・技術の発展に伴う家事スペースの変遷と、求められる要点を解説する
⑩ 就寝の空間	日本における就寝にかかわる特殊性と個室としての就寝空間の課題と計画条件を解説する
⑪ 生理・衛生の空間	浴室・洗面所・便所の計画上の要点を解説する
⑫ 連絡の空間、屋外空間	玄関・廊下・階段及び庭・サービスヤードの計画上の要点を解説する
⑬ 計画手法	配置計画上の要点及び平面計画を行う上でのゾーニングや動線分離の手法に関して解説する
⑭ 日本の住宅における特質	日本の住宅にみられる構成上の特徴に関して解説する
⑮ 今後の住宅の課題	現在の住宅までの移り変わりを解説し、今後の住宅のあり方を考える
⑯ 定期試験	学生による自己評価

【授業方法】

授業計画に関連する情報をビデオやスライドなどによるビジュアルな資料とプリントを提供し、自ら内容を考える環境とする。必要に応じて、授業の前後に関係する事項の問題を課し、動機付けを行う。

【学習到達度の評価】

- 1) 授業中における学生への質問により、大まかな理解度をはかる。
- 2) 適宜レポートを課し、理解度を把握するとともに発展学習を促す。

【評価方法】

- 1) 授業内の問題及びレポートを30点、定期試験を70点として評価する。
- 2) 全授業終了後に学生自身による自己評価を行う。

【関連科目】

- 1 年：建築計画Ⅰ
- 2 年：建築計画Ⅲ、建築設計製図Ⅱ、建築設計Ⅰ
- 3 年：建築設計Ⅱ、地域計画設計

【教科書・教材】

配布プリント

【参 考 書】

建築計画教材研究会 編「建築計画を学ぶ」理工図書
日本建築学会 編「コンパクト建築設計資料集成」丸善

【履修上の注意】

この講義は住宅の計画・設計を行う上での基礎的知識を教授することから、特に2年前期に開講する「建築設計製図Ⅱ」を受講する上で必要である。

【オフィスアワー】

適宜、昼休み（12:00～1:00）に研究室にて講義内容に関する質問を受付ける。